

漁業者の皆様へ

徳山湾でヘテロシグマ アカシオ及びカレニア ミキモトイ
が発生しています！

調査日	令和5年（2023年）6月16日（金）		
発生海域	徳山湾		
赤潮構成種	ヘテロシグマ アカシオ (好適水温：20～24℃、好適塩分：22～29psu)	カレニア	ミキモトイ (好適水温：22～27℃、好適塩分：20～30psu)
着色海域の色	茶褐色		

調査結果

観測場所	細胞数		備考		
	ヘテロシグマ	アカシオ		カレニア	ミキモトイ
下松市笠戸島（深浦）	0 個/ml		0 個/ml		21.2℃-水深 0m
下松市笠戸島（落）	0 個/ml		0 個/ml		22.0℃-水深 0m
下松市栽培漁業センター前	0 個/ml		0 個/ml		20.5℃-水深 0m
櫛ヶ浜港	1 個/ml		20 個/ml		24.2℃-水深 0m
徳山港(周南地方卸売市場水産物市場前)	36,500 個/ml		321 個/ml		24.2℃-水深 0m
山口県漁協新南陽市支店前	3,433 個/ml		6 個/ml		24.2℃-水深 0m
山口県漁協戸田支店前	0 個/ml		0 個/ml		22.5℃-水深 0m

特記事項

ヘテロシグマ アカシオ【赤潮注意報：5,000 個/ml 以上、赤潮警報（魚類へい死目安）：50,000 個/ml】

- 本種は、水深の浅い海域では上下動を繰り返し、日中は表層に、夜間は底層に濃密に滞留します。
- 本種は、日中は光合成による過飽和酸素状態に、朝方は増殖・呼吸等による貧酸素状態にさせて、魚類をへい死させる有害プランクトンです。
- 本種赤潮の主な発生時期は、5～7月(梅雨時期)と10月(秋雨時期)です。

カレニア ミキモトイ【赤潮注意報：100 個/ml 以上、赤潮警報（魚類斃死目安）：5,000 個/ml】

- 本種は過去、**本県で最も大きな漁業被害が発生**したプランクトンです。
- 本種は中層・底層を中心に増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すことから、海面からの観察では海水の着色が判別しにくいプランクトンです。
- このため、**海面が着色していなくても、魚介類の斃死を起こすことがあります**ので、十分に注意して下さい。
- また、**室内実験ではアワビは 150 個/ml で衰弱、死亡が確認**されています。

留意事項

- 今後は、漁港内での蓄養は避けて、活け〆出荷等の対策を講じてください。また、養殖魚等は深い生け簀を活用し、赤潮発生時には代謝を抑えるために餌止めをし、早期出荷などの対策も検討してください。漁船の活け間内のスカッパーを閉めて航行するなど、赤潮を含んだ海水が流入しないよう注意してください。
- なお、県は引き続き調査を実施して参りますので、赤潮の発生・魚介類のへい死などが確認された場合は、漁協を通じて関係市・農林水産事務所水産部に速やかに通報してください。
- また、赤潮による漁獲物のへい死等については、漁業被害救済基金の対象となる場合がありますので、漁獲物の処分等は行わず（被害数量等の確認が必要のため）、速やかに漁協を通じて関係市町・農林水産事務所水産部に通報してください。

※県内の赤潮情報については、海鳴りネットワークのホームページでもご覧いただけます。
→<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/108/21929.html>



